

令和元年度

学校関係者評価報告書

令和2年3月

山梨県立宝石美術専門学校

山梨県立宝石美術専門学校では、関係業界、経済団体、高等学校校長及び保護者等からなる「学校関係者評価委員会」を設置し、学校が実施した自己評価の結果に関する評価を行い、多くの貴重なご意見やご指導をいただきました。

今後とも、学校関係者評価を計画的、継続的に実施し、本校教育の質の向上、学校運営の改善強化に向けて取り組んでく所存です。

1 学校関係者評価委員名

百瀬 文一郎 氏	山梨県水晶宝飾協同組合副理事長
清水 幸雄 氏	山梨県水晶宝飾協同組合宝石学校委員会 委員長
青柳 浩二 氏	山梨県水晶宝飾協同組合宝石学校委員会 委員 (ジュエリー部会)
深澤 陽一 氏	山梨県水晶宝飾協同組合宝石学校委員会 委員 (宝石研磨部会)
深澤 利彦 氏	山梨県水晶宝飾協同組合宝石学校委員会 委員 (貴金属工芸部会)
長岡 良雄 氏	山梨県水晶宝飾協同組合宝石学校委員会 委員 (美術彫刻部会)
内藤 恵一 氏	山梨県水晶宝飾協同組合事務局長
越石 寛 氏	甲府商工会議所 事務局長
永田 典弘 氏	山梨県立甲府城西高等学校 校長
今井 正浩 氏	保護者 (後援会会長)
古屋 万恵 氏	山梨県産業労働部地域産業振興課 課長

2 学校関係者評価委員会の開催

第1回開催日 令和2年2月12日(水)

第2回開催日 令和2年3月19日(水) ※開催中止

3 実施方法及び公表

学校関係者評価委員会では、学校が実施した「自己評価」の結果及び外部アンケートについて事務局より説明し、ご意見をいただきました。

また、委員には、評価項目ごとに次の4段階で評価をいただき、平均値を記載いたしました。

・適切：4 ・ほぼ適切：3 ・やや不適切：2 ・不適切：1

なお、評価の観点には次の項目によるものとししました。

- ・自己評価の内容が適切か
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策などが適切か
- ・学校の重点目標や具体的方策などが適切か
- ・学校運営の改善に向けた実際の取組が適切か

本報告書は、今後の教育活動や学校運営の改善に活かし、本校教育水準の向上に努めて参ります。また、ホームページに公表します。

4 学校関係評価委員の意見・提案等

(1) 教育理念等

評価平均：3.2

評 価 項 目
① 本校教育の特色は明らかか
② 今後学校の目指すべき教育方針や在り方が確立しているか
③ 教育理念・校訓・教育方針などが学生・関係業界・保護者等に周知されているか
④ 育成する人材は、業界のニーズを踏まえているか
⑤ 学則・諸規程等は、十分に整備されているか

【意見・提案】

- 教育の特色は理解されているが、教育の理念や方針が関係者に周知されていないとの結果を踏まえて、PR方法の工夫が必要になる。
- 校長の教育方針のもと、来年度から新たなカリキュラムがスタートする。新しい考えを取り入れ、一つ一つ学内で検証、議論し、変わっていくことでより良い学校になっていくと思う。

- 業界のニーズについては、市場の変動が大きく大手メーカーも苦慮している状況の中、業界自身に明確な展望が描けないのではないかとと思われる。関係者全員が市場の動きに注力し、日頃から情報を共有していくことで、ニーズが分からないことにならない状況を作っておくことが大事。
- 校長の彫金の芸術と技法を学生にもっと深く学ばせるべきである。

(2) 学校運営

評価平均：2.8

評 価 項 目
① 教育理念等に沿った運営方針や事業計画が策定されているか ② 運営組織は、規則等において明確化されているか。また、有効に機能しているか ③ 学校的意思決定は、校長を頂点に組織化されているか ④ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ⑤ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか ⑥ 業務の効率化に取り組むとともに、教職員間の情報共有は十分行われているか

【意見・提案】

- 全ての評価項目の中で、平均評価が最も低い。学校の決定事項が教職員間で共有できていないことが原因と考えられる。指示命令系統を早急に確立し、目標達成に向けて一枚岩で取り組む必要がある。
- 日常的なコミュニケーションや話しやすい環境づくりにより、ある程度、校長の指示や課題等に対応できると考える。

(3) 教育活動

評価平均：2.8

評 価 項 目
① 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ② 教育理念、教育方針や業界ニーズを踏まえた教育到達レベルのための学習時間の確保は明確にされているか ③ カリキュラムは体系的に編成されているか ④ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実施されているか

- ⑤ 業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか
- ⑥ 実践的な教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置付けられているか
- ⑦ 授業評価の実施・評価体制はあるか
- ⑧ 外部関係者からの評価を取り入れているか
- ⑨ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
- ⑩ 教員は学校の教育方針に基づき授業を進めるとともに、教員相互に連携し学生の指導に当たっているか
- ⑪ 目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
- ⑫ 業界団体等との連携において優れた外部講師を確保するなどのマネジメントは行われているか
- ⑬ 卒業生やジュエリー産業従事者等を対象に実施している高度技術専門コース（夜間講座）は、有効に機能しているか
- ⑭ 教員の更なる能力開発のための研修等が行われているか
- ⑮ 産地の一流職人を活用するなど、地域性を考慮し特色ある教育に努めているか
- ⑯ 3年次の分野を選択して専門に特化する授業形態は、効果を発揮しているか
- ⑰ グローバル化の進展に伴い、国際対応力の強化に取り組んでいるか
- ⑱ 附属施設である山梨ジュエリーミュージアムは、山梨県のジュエリーを広く県内外に情報発信しているか

【意見・提案】

- 教育内容についての評価であるため、平均数値を高めることが一番大切で、評価結果が3.0を越える各項目内容の改善に努める必要がある。
- 高度技術専門コースは誰のために、どの様な内容を行うことが良いのかをリサーチして、効果のある形にしなければならない。
- 高度技術専門コースは校長が見直しの必要性を問いかけたことで、今後に向け良い機会が得られたと思う。業界の問題でもあるが、学校側から業界に投げかけない限り変わらないので、今後も活発な議論が必要である。
- 山梨ジュエリーミュージアムについては、業界若手が注目するようになっており、職人の皆様にも多大な協力をいただいている。今後は、業界のハブ機能が増していくと思われるので、学校としての活用や展示等あり方に対する意見など出していただき、更に充実していけるよう協力をいただきたい。

(4) 学習成果

評価平均：2.8

評 価 項 目
① 関係業界への就職率の向上が図られているか ② ジュエリーコーディネーター試験、技能検定等の合格率の向上が図られているか ③ 退学率の低減が図られているか ④ 留年者数の低減が図られているか ⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか

【意見・提案】

- 関係業界への就職に繋がっている点は高く評価できるが、入学させた学生を業界に送り出すことが使命であるならば、退学者や留年者の数を減らす手立てを考えて、実行することが大切である。
- 業界と自治会の連携イベントが効果的と聞いている。業界で活躍している卒業生の状況を把握し、業界内メンターの仕組みができれば良いと思う。

(5) 学生支援

評価平均：3.0

評 価 項 目
① 学習に関する支援体制は整備されているか ② 就職（進路）に関する支援体制は整備されているか ③ 学生相談に関する体制は整備されているか ④ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか ⑤ 学生に積極的に声をかけるなど、常に状況把握に努めているか ⑥ 学生の生活環境への支援は行われているか ⑦ 学生への情報提供は、十分に行われているか ⑧ 学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか ⑨ 課外活動に対する支援体制は整備されているか ⑩ 卒業生への支援体制は整備されているか ⑪ 保護者と適切に連携しているか

【意見・提案】

- 個々の学生に応じた指導をされていると聞いているが、精神面でのフォローが重要となってきた。産業技術短期大学の事例を参考に対応していく必要がある。

- 宝美祭や公開講座を活用するなど、保護者会向け見学会の開催が可能であれば有効である。
- 学生と話をした際、地金代の負担が大きく、アルバイト代や昼食代を削って対応していると聞いたことがある。地金代の補助は難しいか。業界や経済界の支援が必要か。
- 卒業生への支援内容に技術向上や販売促進等が含まれるならば、高度技術専門コースとリンクさせてはどうか。

(6) 教育環境

評価平均：3.4

評 価 項 目
① 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ② 学内の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか ③ 学生が自主的に学習するための環境が整備されているか ④ 防災に対する体制は整備されているか ⑤ 図書室（書庫）の蔵書は、学生が活用するのに十分整備されているか

【意見・提案】

- 学生が自主的に学習する環境整備について改善が図られた。
- カリキュラム改正もあり、新たな需要や改善もあり得ることから、学生の意見も確認し、引き続き環境整備に取り組んで欲しい。

(7) 学生の受入れ募集

評価平均：3.4

評 価 項 目
① 高等学校等に対する情報提供等の取り組みが行われているか ② 学生募集活動は、適正に行われているか ③ 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか ④ 募集内容、募集期間など学生募集の周知は、十分行われているか ⑥ オープンスクールの実施内容、実施回数などは、十分に行われているか ⑦ 県外の高校等に対しても、積極的に募集活動が行われているか ⑦ 学校案内、学生募集要項の内容は、十分必要な情報を掲載しているか

【意見・提案】

- 宝飾業は地場産業であり、山梨県は日本の宝石業界を牽引していくための人材を育成していると言っても過言でないので、今後も山梨の産業として全国、全世界へアピールして欲しい。
- 県外学生の受け入れが少ないように感じる。長野県や静岡県など隣県を中心に、学校PR活動の充実を期待したい。
- 韓国や中国からの学生受け入れは難しいか。国内が少子化に向かう中、学生の獲得は困難になるばかりである。他県の専門学校で外国人に特化した対応をしているところもあるようなので、検討していくことも必要である。
- 様々な意見が出されているので、校内で議論し、学校の魅力が十分に伝わる工夫を続けて欲しい。

(8) 法令等の遵守

評価平均：3.6

評 価 項 目
① 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
② 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
③ 自己評価を実施し、その結果を公開しているか
④ 外部関係者による学校関係者評価を行っているか

【意見・提案】

- 景気の影響を受け、業界としての課題はあると思うが、技術者の育成や商品販売の展開を進めていく先進的な教育内容等を今後も学生に提供して欲しい。
- 新たな就学支援制度に伴い、法令等に基づき学校運営に係る様々な事項の整理がされたと承知しているが、今後も最新の情報や活動を分かりやすく公表して欲しい。
- 学校評価も3回目になるが、学生の様子や先生方の様子も見えてきており、これが改善につながり、成果が出ていると思う。こうした結果を随時議論の場で活用することで、更に実施意義が増していくのだと考える。

(9) 社会貢献・地域貢献

評価平均：2.8

評 価 項 目
① 夜間講座は業界や従事者等のニーズを踏まえたテーマ設定となっているか
② 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
③ 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
④ 学校の立地条件を活用し、学校と地域とで連携した取り組みを行っているか
⑤ 交流スペースは積極的に活用されているか

【意見・提案】

- 身につけた技術を活かしてボランティア活動ができれば、学生にとってもやり甲斐があるのではないかと思います。例えば、施設を巡り、簡単な装飾品の加工をしてもらうことや、収益金を寄付する名目で装飾品づくり会を行うことはどうでしょうか。
- 昨年、地域と連携した取り組みの充実を提案したところ、オリオンスクエア等での展示やイベントなど積極的に実施いただいた感じがする。特に、宝美祭の野外ステージやジュエリーファッションショーは、レベルが高く素晴らしかったという意見も聞いている。まちなかに学校があるメリットを生かせる取り組みを是非、更に充実して欲しい。